



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

不審者対応訓練

9月9日に、不審者対応訓練を行いました。今回の訓練の目的は、不審者が校内に入ってきた際に、子供たち自身がどのように行動したらいいのか、動きを通して学ぶことです。下記の動きを確認しました。

- ①教室のドアを閉め、鍵を閉める。
- ②窓も閉め、鍵を閉める。
- ③廊下側の壁の下の扉を閉める。
- ④教室のドアの部分にバリケードをする。
- ⑤静かにして身を潜める。

各教室の様子を見に行きましたが、どのクラスも、静かに身を潜め、落ち着いて訓練に取り組んでいました。座間市の安全を見守ってくださっている学校安全対策指導員の秋葉さんが来校し、訓練の様子を見てくださいました。秋葉さんからも、子供たちの動きが素晴らしいという言葉いただきました。

訓練は、本当に何かが起こった時に適切な行動がとれるよう事前に学んでおく大切な学習活動です。ただ、訓練をしていても落ち着いて行動できるかという、難しい部分もあるかと思っています。それは、実際は、訓練とは異なる状況下で想定以上のことが起きるからです。東日本大震災が起きた時に座間市でも大きな揺れが長時間続きました。毎年地震の避難訓練をしていたにもかかわらず、その当時、私が勤務していた学校の子供たちは、パニック状態になり、泣き叫んでいました。訓練で行動していたことを思い出せないほど動揺するという状況を目にしました。このことをきっかけとして、私は、子供たちに、何かあった時には、あわててしまったり、どうしよう、こわいと思ってし

まったりすること、でもそれは当然のことであること、だからこそ、「自分の命は自分で守るんだ」「命を守るためにどうしたらいいか考えるんだ」と自分自身に話しかけることを忘れないでほしいことを訓練のたびに伝えていきます。今回も、同じことを伝えました。

学んだことを自分の中にしっかりと落とし込む方法として、人に説明していくこと(アウトプット)が一つのやり方として有効であると考えています。子供たちの意識を高めていくために、今回の訓練で考えたり、思ったりしたことをお家の人にも話してほしいと伝えていきます。ぜひ、子供たちから話を聴いていただきたいと思えますし、御家庭の中での新たな視点も合わせてお話いただけたらありがたいです。

子供の素敵な姿

2つの水槽を取り囲んでいる子供たち。1つの水槽には大人のメダカ、もう1つの水槽には赤ちゃんのメダカがいました。子供たちは小石の袋を持っていて、水槽の中に小石を入れていました。「山を作ろう」「トンネルを作って通り道を作ってあげよう」「そっと石を入れてあげようね」等と言い合いながら、メダカにとっていい環境を作ろうと目を輝かせて活動していました。しばらくして、小石の入った袋の中にあつた1つの貝殻を、「赤ちゃんのメダカの方に入れよう」と話しているの、「どうして赤ちゃんメダカの方に入れるの?」と聴くと、「赤ちゃんメダカの隠れる場所になるからだよ」と答えてくれました。生きている命に触れ合うことで、子供たち自身もつ豊かさがどんどん引き出される瞬間に出あいました。子供たちの姿が素敵でした。